


人工光合成国際会議 2019 (ISF-3, ICARP2019) 開催

2019年11月20-24日に広島コンベンションホールにおいてISF-3とICARP2019の合同国際会議が開催されました。ISFは第1回がスウェーデン・ウプサラで初開催以来、2回目アメリカ・サンディエゴを経て今回日本での開催、ICARPは2014年に淡路島で第1回が開催されて以来2回目京都を経て今回の開催になります。

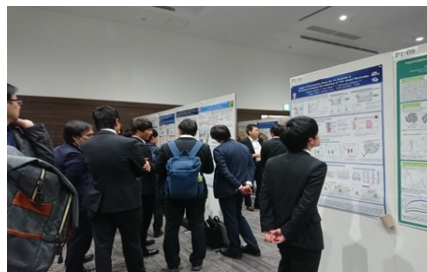


この国際会議に先立ち2019年11月19-20日には若手研究者と学生を対象としたISF-3 YOUNG 国際会議も開催されました。これらの会議では、光合成及び人工光合成に関する全学問分野における最新の研究結果について、以下のようなトピックを中心に活発な議論がなされました。

- 水の酸化、水素生成、二酸化炭素還元などの人工光合成システム
- 分子光触媒及び半導体光触媒
- 光捕集及び光化学的電荷分離
- 天然光合成メカニズム
- 光合成によるバイオ燃料及びバイオマスエネルギー
- フォトバイオリクター
- 光電気化学と光生物学

この会議では、人工光合成研究センターの天尾豊所長の他、人工光合成研究拠点の国内運営委員の阿部竜教授（京都大学）、石谷治教授（東京工業大学）、工藤昭彦教授（東京理科大学）、民秋均教授（立命館大学）、八木政行教授（新潟大学）、今年度から新たに組織した国外運営委員の Michael Wasielewski 教授（Northwestern University）、Estuko Fujita 博士（Brookhaven National Laboratory）、Licheng Sun 教授（KTH Royal Institute of Technology）の基調講演や招待

講演がありました。その他、人工光合成研究センターの教員や関連研究室の学生から多くの口頭発表・ポスター発表がありました。



ポスター発表の様子

また、人工光合成研究センターは本国際会議を共催し、展示ブースを設置し、人工光合成研究拠点としての活動や研究について紹介しました。展示ブースには国外運営委員や王立化学会の副編集長が訪れ、拠点紹介のパンフレットや紹介プロモーションビデオで拠点活動に関する意見交換が交わされました。国際研究拠点をを目指す本センターでは拠点活動を海外にアピールする絶好の機会となりました。



人工光合成研究センター展示ブース

人工光合成研究拠点では、人工光合成研究に関する国内外の学会・研究会の他、当研究センターに関するお知らせや見学会・講習会・講演会開催の案内など、最新情報をホームページや Facebook に掲載しています。是非チェックしてください。

人工光合成研究拠点 ニュースレター
第4巻・第8号 2019年11月26日発行
発行責任者：天尾 豊（大阪市立大学人工光合成研究センター所長）
編集責任者：吉田朋子（同副所長）
<http://recap.osaka-cu.ac.jp/ap-coe/index.html>